

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 23 年 2 月 28 日

審査機関名 株式会社日本スマートエネルギー

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A 重油焚炉筒煙管ボイラから都市ガス焚貫流ボイラへの更新プロジェクト
排出削減事業者名	杉浦製粉株式会社
排出削減共同実施事業者名	テス・エンジニアリング株式会社
事業実施場所	杉浦製粉株式会社 本社工場 (愛知県安城市桜町 8 番 16 号)
事業の概要	既設ボイラを高効率のボイラに更新することで燃料使用量を低減し、エネルギー消費量及び二酸化炭素排出量の削減を図る
排出削減量の計画	2009 年度：124 t CO ₂ /年 2010-2012 年度：186tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 682 tCO ₂)
国内クレジット 認証期間	事業開始日 2010 年 10 月 28 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001：ボイラーの更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	本排出削減事業が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。 排出削減事業実施場所：杉浦製粉株式会社 本社工場 (愛知県安城市桜町8番16号) 事業実施サイトの視察日付：2011年1月31日
追加性を有すること	1) 法的義務がないこと 本排出削減事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものでもなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを本排出削減事業者への質問等により確認している。 2) 設備が継続利用可能であること 本排出削減事業が実施できない場合には、既存の設備が継続的に利用可能であったことを、質問、関連資料の閲覧、既存設備の導入日の確認等により確認している。 3) 投資回収年数 本排出削減事業の投資回収年数は補助金を除いた純投資金額より算出した。入手した根拠資料、質問および検算により投資回収不能と計算されることを確認した。投資回収年数の根拠データにつき、関連信憑と突合することにより正確性を確認している。 4) 追加性判断における定性要因 本排出削減事業者は、CO2 排出削減事業に取り組むと同時に、国内クレジット制度に参加することによって、CSR 効果が期待できるとの紹介を関係事業者より受け本事業実施に至った旨を確認した。
自主行動計画に参加していない者により行われること	自主行動計画に参加していないことについては、排出削減事業者への質問により、自主行動計画に参加していない事業者であることを確認している。

要件	審査手続き
<p>排出削減方法論に基づいて実施されること</p>	<p>本排出削減事業は、承認排出削減「方法論番号 001:ボイラーの更新」に基づき排出削減量を計算しており、また、それぞれの方法論の適用条件を満たしていることを確認した。</p> <p>【方法論番号 001：ボイラーの更新】</p> <p>適用条件 1 については、既存ボイラーよりも高効率のボイラーへの更新であることを現地視察および設備仕様書の閲覧等により確認している。</p> <p>適用条件 2 については、ボイラーの更新を行わなかった場合、既存のボイラーを継続的に利用することができることを資料閲覧等により確認している。</p> <p>適用条件 3 については、事業実施後に製造した蒸気を全て自家消費している事を現地視察、工事図面の閲覧等により確認している。</p> <p>3) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p>

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

4. 特記事項

特になし。

以上